

**第 114 回日商簿記 3 級 第 1 問 仕訳問題類題 問題**

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金					
未	収	入	金	他	店	商	品	券	前	払	金	従	業	員	貸	付	金
従	業	員	立	替	金	備		品	支	払	手	形	買	掛	金		
借	入	金		社	会	保	険	料	預	り	金	所	得	税	預	り	金
資	本	金		商	品	券			売		上	受	取	手	数	料	
受	取	利	息	有	価	証	券	売	却	益	仕		入	租	税	公	課
給		料		支	払	利	息		発	送	費	保	険	料			

1. 商品券を精算するため、当社が保有している他店商品券 ¥ 100,000 と他店の保有している当社発行の商品券 ¥ 120,000 とを交換し、差額については現金で決済した。
2. 店主の生命保険料 ¥ 90,000 と店舗兼住居用の建物の火災保険料 ¥ 250,000 について、当座預金口座より引き落とされた旨の通知が取引銀行からあった。ただし、火災保険料のうち、20%は店主個人住居部分に対してである。
3. かねて森商店より掛けで仕入れ、村井商店に対して掛けで販売していた商品 60 ケース（取得原価 @ ¥ 8,000 、売価 @ ¥ 12,000 ）のうち、6 ケースに汚損があったため、1 ケース当たり ¥ 2,000 の値引を承諾し、10 ケースについては品違いのため返品されてきた。なお当社は、売上値引勘定や売上戻り勘定は使用していない。
4. 今月の給料支給額 ¥ 3,000,000 から、従業員に対する貸付金の返済額 ¥ 800,000 及びその利息 ¥ 10,000 を差し引き、手取り額を当座預金口座から振り込んだ。
5. 本多商店から商品 ¥ 300,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 150,000 については本多商店を名宛人とする約束手形を振り出し、残額については小切手を振り出して支払った。なお、当座預金残高は ¥ 100,000 であったが、取引銀行と当座借越契約（借越限度 ¥ 300,000 ）を結んである。